



蔵王一小

山形市立蔵王第一小学校
文責 校長 鈴木章人

2025年 令和7年
10月24日 金曜日
第7号

6年生の修学旅行

6年生が、10月1日（2日（一泊二日）の行程で関東方面に修学旅行に行ってきました。修学旅行のめあては「全員で楽しもう」重点は①集団行動②気づかい③話を聞くと決め、午前7時12分に山形駅を出発しました。



山形から東京までは新幹線を利用し、都内は貸切バスで移動しました。出発式では校長から、「心の矢印を自分に向けてののではなく、周りの友達に向けてのことが、本当の楽しさにつながります。友情を深める思い出の修学旅行にしてほしい」と話をし、その言葉を胸に旅が始まりました。国会議事堂では実際の議場を見学し、社会科で学

んだ政治の場を目の当たりにして大きな感動を覚えました。

TOKYO



浅草寺では仲間とともに歴史ある町並みを歩き、東京スカイツリーや上野公園では最新の都市文化や自然とふれあい、多くの発見と驚きがありました。夜は素敵なホテルに宿泊し、友達と語り合う時間がより一層友情を深めるひとときとなりました。「楽しい活動」という目標は、ただ楽しむだけでなく、友達を思いやる行動や時間を守る姿として現れ、校長の願い通り、心の矢印を外に向けた温かい思い出にあふれる修学旅行となりました。

資源回収が中止

10月18日（日）に予定していた学区内資源回収は、10月15日に半郷地区でクマの出没が確認されたため、安全を最優先し中止といたしました。急な判断となったことから、ご家庭のご準備やご都合にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。当日は職員とPTA役員が学区内を巡回し、既にご家庭の回収に努めましたが、連絡が行き届かず、回収しきれない場合もありました。重ねてお詫び申し上げます。

近年、学区周辺でクマの出没が継続している状況を踏まえ、資源回収の実施方法はもとより、事業自体の継続の是非についても、取りやめを視野に入れて慎重に検討してまいります。地域の安全を第一に、今後の方向性をPTA・地域と共に協議してまいります。

近隣の学校との交流

蔵王第二小学校、村山特別支援学校の児童の皆さんをお迎えし、本校の「わかば学級」との交流会が行われました。自己紹介やゲーム、共同制作活動を通して、初めは少し緊張した様子の子どもたちも、次第に笑顔が広がり、「また一緒に活動したい」「友達ができてうれしかった」といった声が聞かれました。

今回の交流を通して、お互いのよさを認め合い、思いやりや心のやりとりに力やコミュニケーションの機会となりました。



今後は蔵王第二小学校への訪問交流も計画されており、子どもたちは「次は自分たちが出かけていく番」と目を輝かせて期待を膨らませています。これからも継続した交流を通して、つながりを深め、豊かな心の育成につなげてまいります。

なかよし班井当開き

本校には縦割り班の活動があります。縦割り班活動は、学年を超えた温かなつながりを育む本校の特色ある取り組みです。上級生は思いやりや心と責任感を伸ばし、下級生は安心感や憧れの気持ちを持って活動に参加します。初めは緊張する子もいますが、回を重ねるごとに「みんなで協力できた」「ありがたうと言われた」「うれしかった」と、自信につながる姿が多く見られました。こうした経験は、将来社会で生きる力の土台となります。



上級生が下級生を思いやり、声をかけたり助けたりする中で「リーダーシップ」や「責任感」が育つ。下級生は上級生に憧れを持ち、「目標となる姿」「自分もいつかはあの立場になる」という成長意欲が高まる。何より、自己有用感（自分は役に立っているという実感）の向上につながると思っております。

ワンコ堂

10月23日にプロ野球のドラフト会議が行われました。今年は30名を超える選手がプロ志望届を提出しましたが、球団から指名されたのは、育成枠を含めてもわずか15名でした。高校日本一の立役者となった選手や、日本代表として活躍した選手でさえ指名されなかった現実、プロの世界の厳しさを改めて思い知らされました。

人は、常に順風満帆な道を歩めるとは限りません。むしろ苦勞や失敗に出会った時こそ、人としての真価が問われます。誰かが助けってくれるのを待つだけの人生では、自ら道を切り開く力は育ちません。自分で悩み、自分で乗り越えた経験こそが、未来を生き抜く力となります。一方で、苦勞を重ねてきた人ほど強くなります。思い通りにならない現実に向き合いたくなく、あきらめず前を向く姿には、人を感動させる力があります。「苦勞は宝」。私も、どんな状況になっても前向きに挑戦し続けられる人になりたい。

「最後まで走りきる」

10月15日は3・6年生、17日は2・5年生、21日は1・4年生が校庭のトラックを使用し全校マラソン記録会を行いました。1・4年生は日程を変更しましたが、とても良いコンディションの中、開催できました。

多くの保護者の皆様が参観・応援してくださいました。ありがとうございます。

これまで体育の授業で持久力を高めてきました。10月6日からは14日までのマラソン週間で子ども達のコッソコと練習に取り組む姿や友達同士で記録更新を励まし合っていた姿がありました。

当日も「がんばれ！」「ラストスパートだ！」の声に背中を押され、自己ベストに挑む姿がたくさん見られました。

何より素晴らしいのは、順位だけでなく「自分との勝負」に挑み、最後まであきらめずに走りきろうとする気持ちです。完走を目指して力を出し切った一人ひとりに大きな拍手を送ります。



素敵なブラスバンド部

本校ブラスバンド部は、山形市小学校吹奏楽発表会に参加しました。

前半ステージの最後を飾る発表順での登場です。部長、副部长から「皆さんこんにちは、蔵王一小ブラスバンド部です！」「今日演奏する曲はミッキーマウス・マーチです。この曲は、さびの部分のタンギングが多いので難しく、また、クレッシェンドを意識しながらまとまりのある音が出せるように練習してきました。とても軽快なリズムの曲なので聞いて楽しい曲です。リズムに乗ってお聞き下さい！」と曲の紹介がありました。



大勢の観客の視線が集まる中、部員一人ひとりが心を一つにし、息の合った素晴らしい演奏を披露しました。演奏曲は「ミッキーマウス・マーチ」。明るく軽快なリズムが会場全体に広がり、自然と観客席から手拍子が起こり、音楽と会場がひとつになったような感動的な瞬間となりました。

演奏を終えた子ども達も「とても緊張したけれど、手拍子が聞こえた瞬間にうれしくなり、最後まで楽しく演奏できた」と笑顔で話していました。多くの保護者の皆様にも応援に越しいただき、温かい拍手と声援が子どもたちの大きな励みとなりました。



個人情報保護

近年、個人情報保護の観点から、学校だよりやホームページ等での児童の氏名・写真の掲載について、全国的に見直しの動きが進んでいます。

本校においても、これまで児童の活動の様子を広く知っていただく目的で、名前や写真を学校だよりやホームページに掲載してまいりました。しかし、成長した後には当時の写真や記録が、思わぬ形でつかいかや、誤った拡散につながる事例があることを知り、大きな課題であると受け止めています。

特にインターネット上に掲載された情報は、一度発信されると完全な削除が困難であり、児童の将来に影響を及ぼす可能性があります。こうした現実を踏まえ、本校では今後、学校だよりにおける児童の名前の掲載や写真の取り扱い方について、慎重に見直しを行い（強いモザイク）、状況によっては掲載を取りやめることも視野に検討を進めます。

保護者、地域の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

全校朝会での校長講話

～11月の主な予定～ 5日：創立記念式（朝会）、弁6年 6日：クラブ⑥ 7日：3年除雪車出動式、弁1・5年 10日：職員会議 11日：落ち葉拾い（1～4年）、弁4年、読み聞かせ、4年社会科見学 12日：全校朝会（音楽）、アニマルセラピー（わかば） 12日：市小教研（4時間授業、1年は5時間授業） 13日：クラブ⑦（最終） 14日：3年収穫祭（3年昼食お餅）、アニマルセラピー（わかば） 17日：子どもを知る会 18日：なかよし班、読み聞かせ 19日：全校朝会（講話） 20日：学校保健委員会 21日：児童委員会 25日：通学班長会 26日：全校朝会（赤い羽根）、理科研究発表会 28日：3年社会科見学、弁3年